

社会の隅でひっそりギターを奏でるギタリスト

第2回

有馬信一



ギターリサイタル

2025年11月9日（日）

14:00 開演

マジョルカホール

（和光音楽アカデミー）

主催：有馬信一を部屋から連れ出す会

協力：ギターサロン カフリ





## プログラム

### 第Ⅰ部 有馬信一 ソロ演奏

水色スカラー / 吉松隆  
1 1月のある日 / Leo Brouwer  
1 2月の太陽 / Rey Guerra  
風色ベクトル / 吉松隆  
虹の彼方に / Judy Garland

### 第Ⅱ部 ゲスト演奏 松本富有樹 ソロ演奏

ソナタホ長調 / Giovanni Zamboni  
タールベルクの主題によるエチュード / Francisco Tárrega

## 《 休憩 》

### 第Ⅲ部 有馬信一&松本富有樹 二重奏

Evening Dance / Andrew Yojk  
Grand Duo / Napoleon Coste



## ♪ ごあいさつ ♪



※実物以上にカッコよく盛れた写真

Nintendo Switch 2 の第 5 回抽選販売に落選したときに察しました。これはもう神がギターを弾けと言っているのだと。手首や膝を痛め杖をついて歩いていた時も、steam のサマーセールを泣きながらスルーしたときも、毎日楽しくギターを弾いてきました。

ここ最近また一層ギターを弾いていて楽しいです。ただ弦に触っているだけでも気持ちいい。長年連れ添った妻に日々惚れ直すような感じでしょうか。あ、私は独身でした。

こんな私と人生の貴重な時間のひと時を共有するという選択をして頂いたことにいつも深く感謝しています。絶対に年末はカービィのエアライダーをして過ごす。そう決心しています。

## ♪ 曲目解説 - 有馬 solo ♪

今回は遠慮なく私が好きな曲を、  
弾いて皆様に聴いてもらいたかった曲を選曲しました。

### 【水色スカラー（Prelude, Intermezzo-A, Dance, Intermezzzo-B, Rondo）】- 吉松隆

昔から好きな曲。2 つの間奏曲を含む 5 つの小品からなる。淀みのない綺麗な旋律が魅力だと思います。一つ目の間奏以外は変拍子というかそもそも譜面に拍子を書いてなくて初めて見た時はビックリしました。この水は water のこと、スカラーとは方向をもたない量のことを言っています。

### 【UN DIA DE NOVIEMBRE( 11 月のある日)】- Leo Brouwer

クラシックギター愛好家の誰もがきっと 1 度はチャレンジをしたことがあるとても綺麗な曲。前半で優しいような顔をしておきながら、後半の「こんなの押さえられないでしょ」という運指で多くの愛好家の心をへし折ってきた。(個人の感想です)

### 【Sol de Diciembre( 12 月の太陽)】- Rey Guerra

実はずっと「11 月のある日」と同じ作曲者と思ってて、よく見たら違った。次々と色々な場面ができて、そのどれもギターの魅力が存分に感じられるとてもいい曲だと思っています。今年の夏の太陽は殺人的な強さでしたけど、この 12 月の太陽は優しいかもしれない。

### 【風色ベクトル(Leeward, Calm, Windward)】- 吉松隆

風下→風上→風上と 3 つのテーマで風を表現している。現代音楽でありながら難解さよりもイメージを喚起される感じが強いと思います。吉松隆さんの楽譜は見ても「これは楽譜なのか？」と思いつつ閉じすることも多いのですが、いつかやってみたいなーと思ってました。

### 【Somewhere Over The Rainbow(虹の彼方に)】- Judy Garland

クラシックギターでは有名な武満さんの編曲があるけど、私のお気に入りのギタリストが違うやつを弾いていたのでそれを！素直な編曲にちょっとおしゃれさがあって最高です！！

## 🎸 曲目解説 - 松本 solo 🎸

《こんなすごい人が福岡におったんや・・・。 by ありま》

### 【ソナタホ長調】- G.ザンボーニ

17 世紀後期から 18 世紀初頭まで活躍したザンボーニは、リュート、ギター、マンドリン、チェンバロなど数多くの楽器を使いこなしていたそうだ。さらには宝石商というもう一つの顔を持っており、その職業柄か彼の曲は宝石のようにキラキラしている。このソナタは、プレリュード、アレマンド、クーラント、サラバンド、メヌエットの 5 曲から構成されている。

本来は組曲というところを敢えてソナタと書いているところが不思議で面白い。 (松本)

### 【タールベルクの主題によるエチュード】- F.タレガ

僕が初めて取り組んだトレモロの曲で、当時かなり背伸びして取り組んだ曲だが、成長させてもらった思入れのある曲である。

ピアニストであったタールベルクはリストと同年で、ライバル関係にあり曲もたくさん残しているが、今日では殆ど演奏されることがない。タレガがタールベルクの曲に使われているメロディーを抜き出してギター曲として仕上げた曲である。 (松本)

## 🎸 曲目解説 - duo 🎸

ギターの二重奏はそれぞれの個性が楽しめて、とても魅力的だと思っています。

### 【Evening Dance】- Andrew York

夕暮れの踊りをイメージした曲で、軽快な感じとちょっと寂しい感じが絶妙にマッチしています。僕は比較的易しく楽しく弾けるかなと他の人の演奏を見て思ったけど、いざ練習してみたら全然そんなことはありませんでした。

### 【Grand Duo】- Napoleon Coste

二つのギターが呼応しながら交互に伴奏や旋律を担当し立体的に膨らみを感じる大曲。全 4 楽章あって、1 楽章だけでも「やりきったぜ！！」てなるけど、作曲者が 4 楽章構成で作ってるので「全部やるしかねえ！」と意気込んだものの、松本さんとの練習日が怖くて震えながら練習していた曲。今日来て下さった皆様には付き合ってもらうしかねえな(――)

## 【有馬信一】



子供の頃に気が付いたらヤマハ音楽教室に習いに行かされる。全く練習しなかったので親に「やめさせるぞ」と脅されていたが何とか中学生ぐらいまで続けることに成功する。高校の時に受験戦争に置いて行かれたのを機に暇になって家で本格的に練習を始める。大学、社会人になってからは各種マンドリンクラブを転々とする。

前田さんのバンブーギターとの出会いを切っ掛けにギター界との合流を果たす。思い出の一つは名古屋の楽団に呼んで頂いてギター協奏曲のソリストを務めたこと。ちなみに、夜の光の戦士は廃業しました。趣味：実家で買っている猫を抱っこする。（うにゃーと嫌そうにするが1分ぐらいは「しかたないな〜」という顔で我慢してくれる🐱）。

## 【ゲスト：松本富有樹】



クラシックギターを中野義久、レオナルド・ブラーボ、福田進一各氏に師事。

2011年からバーゼル音楽院に留学し、パブロ・マルケス氏に師事しルネッサンス時代から現代までの音楽を幅広く勉強する。2014年BAを満場一致の最高点にて卒業。在学中より古楽に傾倒し、2017年からバーゼル・スコラカントルムにて巨匠ホプキンソン・スミス氏に師事しルネッサンスギター、バロックギター、19世紀ギターなど各時代の異なるギターを学ぶ。2019年帰国。

糸島市加布里にある「ギターサロン カフリ」を壇遼氏と共同運営

## 有馬信一コンサートでのお願い

皆さんに楽しんでもらえるコンサートにしたいと思っています。  
コンサートにおけるお願いとお知らせです。よろしくお願いします。

**お願い 1:**有馬は、演奏中に人の声が聞こえたり、ブーイングが聞こえると心が折れる繊細な性格なので、優しく接してあげてください♪

**お願い 2:**有馬は、演奏中は神経質なので、携帯電話などの音が鳴ると大きく動揺する生き物です。携帯電話などの音が鳴らないようご配慮お願いします。

**お願い 3:**有馬への餌やり、物を投げつけることはおやめください。また、演奏会終了後に、有馬とのツーショット等の撮影時間を設けますので、演奏中の録音録画、写真撮影はご遠慮ください。

**お願い 4:**コンサート最後の曲が終わった際、アンコールがないと、いつまでもステージから去らないところがありますので、最後は、アンコールの拍手をお願いします。

**第1回 有馬信一ギターリサイタル アーカイブ(2025.4.12 マジョルカホールにて)**



スタッフ一同との記念写真



ゲスト加藤優太氏との二重奏



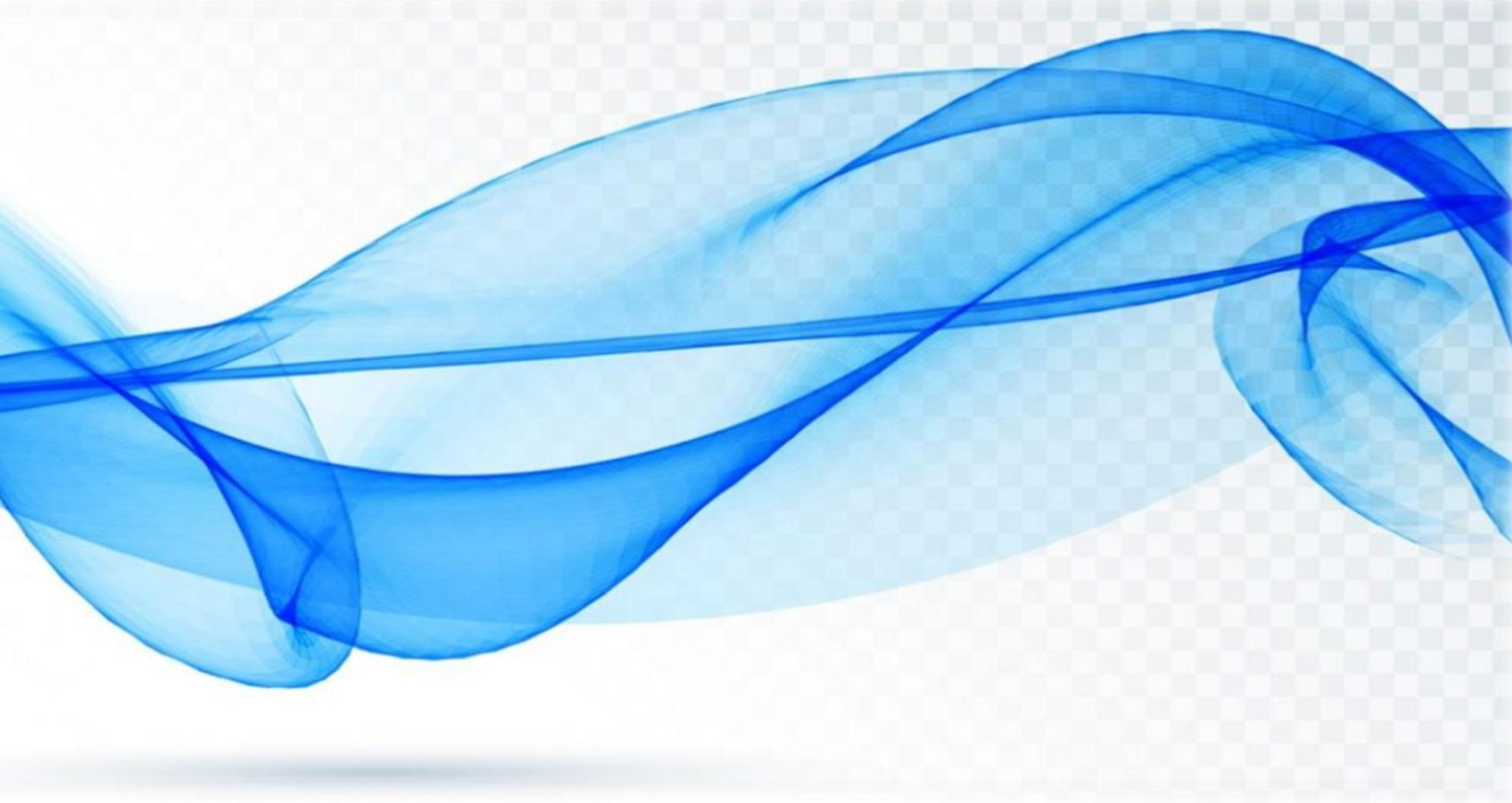
受付嬢をお願いしたご婦人方



デュオ・アルゲンテウスの演奏



会場の雰囲気(演奏会前)



**本日はお越しいただき、本当にありがとうございました。**

**この日があるのは、私と知り合ってくださった皆様のおかげであると強く感じています。**

**今後もギターを弾いていると思いますので、かまってやってください。**

**社会の隅でひっそりギターを奏でるギタリスト 有馬信一**

